

常なる磐

つねなる いわ

令和2年11月6日(金)
その2

◇ 校歴を紐解く⑦【一輪車】

1年生の中で「一輪車」が大流行である。上級生がすいすいと軽快に一輪車を乗りこなしているのを見て、触発されたのだろう。赤色体操帽子の1年生が、苦勞して一輪車にまたがり、ジャングルジムにつかまりながらバランスを保つ。これが第一段階。

「一輪車に腰骨を立てて立つ」いった印象。腰が曲がったり、腰が引けたりすると、たちまちバランスが崩れる。「視線を前にして背筋を伸ばす」この姿勢が大事なのである。

微笑ましいのは、面倒見のよい上級生が近くでアドバイスをしているところだ。

4年生のHは、長放課、昼放課と毎時間1年生に付き添う。1年生も助言を受けて一生懸命に取り組むから、教え甲斐がある。

アドバイスをする様子をうかがっていると、ジャングルジムに掴ませながら方向を変えさせている。なるほど。次のステップへと進めるためのポイントとなる指導があるのだ。授業も同じ。すっかり指導者だ。

さて、一輪車置き場を変えた。リサイクル&リニューアルである。旧置き場は、雨漏りが激しい他、扉の立て付けも悪くて開閉すらままならない。そこで、数年来使用しておらず、傷みの激しい兔小屋と鳥小屋に目を付けた。まだ状態のよかった鳥小屋を改修して一輪車置き場とした。前面が網戸で、中の様子が確認できる点がよい。兔小屋は取り壊したが、その結果、遊具は使用しやすくなり、安全面も確保できた。一石二鳥どころではない。一石数鳥である。



「一輪車に乗るコツ」とパソコンで検索すると、乗り方マニュアルや指導法に加え、動画もいくつか紹介されている。4年生までは iPad が支給されて授業で使い始めているが、1～3年生についても、共用ではあるが年度内には配備される予定である。もう少しすれば、一輪車の乗り方を自分で調べたり、一輪車に乗る様子を動画で確認したりといった追究する様子が見られるようになるだろう。

さて、本校での一輪車の歴史を紐解くと、平成2年に吉澤弘真さんから寄贈されたと記録にある。

当時の写真が1枚目（屈託のない表情は、今も同じ）と2枚目であるが、驚いたことに、寄贈していただいた一輪車が今も現役（3枚目写真の左側）で子供たちが利用しているのである。



一輪車の表示にある **PANAGYRO** の記載が同じである。本年度も社教委員会のご支援でタイヤを交換させていただいたが、サドルやペダルの形状や色彩が異なることから、繰り返し修理して現存に至るのだろう。

さらに、多くの卒業生を含めた子供たちが大切に利用してきた証でもある。



ちなみに **PANAGYRO** は、車輪が小ぶりでサドルの位置も低く設定されており、現在は1年生が好んで使用している。

3枚目の写真の右側が第2世代の **FLAMINGO** 。**PANAGYRO** **FLAMINGO** に加え数年前に購入したと思われる最新式の強化プラスチックフレームの一輪車もあり、3種類が活躍している。

平成2年以来、実に30年間。

子供たちのお父さんやお母さんが使用した一輪車もあるだろう。30年の年月を経ても学校に残り、現役として大活躍している。

